

4 地域生活支援事業

(1) 必須事業

① 理解促進研修・啓発事業

障がいのある人が日常生活をする上で生じる「社会的障壁」を除去するため、障がい者等や障がい特性等に関する理解を深めることを目的とし、研修・啓発を通じて、市民への働きかけを行います。

【実績】

現在、本市では、「ノーマライゼーション推進事業」として、学校や企業、地域などを対象にしたノーマリー教室、市民が障がい福祉サービス事業所等を訪問し、直接職員や利用者等と交流する事業所等訪問、障がい者週間記念行事を実施し、その活動状況を市民へ周知する情報誌を発行しています。

また、手話の普及、啓発、理解促進を図る「手話の出前講座」や内部障がい等によって援助や配慮等を必要としていることが外見からはわからない方が周囲からの配慮を必要としていることを知らせるヘルプマークを配布する「ヘルプマーク配布事業」等を行っています。

【見込み】

「ノーマライゼーション推進事業」を継続して実施し、住民の障がいに対する理解を深める働きかけを行い、共生社会の実現を図ります。

② 自発的活動支援事業

障がいのある人やその家族、市民等が自発的に行う活動に対する支援を行います。

【実績】

現在、本市では、「ボランティア活動支援事業」として、精神障がい者の自助グループであるボランティア活動団体に対する支援を行っています。

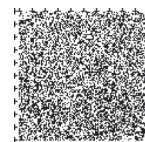
【見込み】

今後も、障がいのある人等が、仲間と話し合い、自立のために社会に働きかける活動（ボランティア等）への支援や、障がいのある人等の社会復帰活動への支援等を行います。

③ 相談支援事業

ア 障害者相談支援事業

障がいのある人やその家族からの相談に応じ、障がい福祉サービス等の利用援助や各種専門機関の紹介など必要な情報の提供や助言等を行うとともに、虐待の防止・早期発見のための援助を行います。



【実績】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	か所		2	2	2
実 績 B	か所	2	2	2	2
差 引 き (B-A)	か所		0	0	0

現在、2か所の事業所で必要な支援を行っており、内1か所は、基幹相談支援センターとして運営しています。

【見込み】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	か所	2	2	2

今後も、2か所の内、1か所は基幹相談支援センターとして、現在の事業所で継続して事業を運営していきます。

イ 基幹相談支援センター等機能強化事業

一般的な相談支援事業に加え、特に必要と認められる能力を有する専門的職員の配置や、地域の相談支援事業者等に対する指導・助言、人材育成の支援、地域移行に向けた取組等を実施し、相談支援機能の強化を図ります。

【実績】

社会福祉士等の資格を持つ専門職員の配置、相談支援事業者を訪問しての指導・助言の実施および研修会を実施し、人材育成の支援等を行いました。

【見込み】

今後も、相談支援機能の強化を図ります。

ウ 住宅入居等支援事業（居住サポート事業）

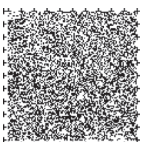
賃貸契約による一般住宅への入居にあたって支援が必要な障がい者に対し、必要な調整や家主への相談・助言等を通じて、地域生活の支援を行います。

【実績】

相談支援事業として、住宅入居に関する相談にも対応しています。

【見込み】

今後も、対象者からの相談に対応し、生活の支援を行います。



④ 成年後見制度利用支援事業

障がいがあることにより、判断能力が不十分で、成年後見制度の利用が必要な人に対し、一定の要件を満たす場合に、申立費用の助成や後見人等の報酬の助成を行います。

【実績（年あたり）】

区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		8	10	12
実 績 B	人	10	16	18	28
市長申立	人	2	3	1	2
申立費用助成	人	2	0	1	3
報 酬 助 成	人	6	13	16	23
差 引 き (B-A)	人		8	8	16

函館市成年後見センター等の関係機関と連携し、利用実績は増加しています。

【見込み（年あたり）】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	35	45	59

成年後見制度の理解が徐々に進み、利用人数の増加につながってきていることから、過去の伸び率等を勘案して見込みました。

⑤ 成年後見制度法人後見支援事業

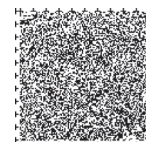
成年後見制度を適正に行うことができる法人を確保できる体制を整備するとともに、市民後見人の活用を含めた法人後見の活動を支援します。

【実績】

函館市成年後見センターにおいて、福祉事業者向け法人後見実施のための研修会を開催しました。

【見込み】

今後も、函館市成年後見センターにおいて、研修会を開催するなど、法人後見の活動を支援します。



⑥ 意思疎通支援事業

ア 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

聴覚、言語機能または音声機能の障がいのため、意思疎通に支障のある人に対し、その円滑化を図るため、手話通訳者・要約筆記者等を派遣します。

【実績（年あたり）】

区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	件		1,568	1,568	1,568
実 績 B	件	1,673	1,416	1,343	1,331
手話通訳者	件	1,500	1,225	1,182	1,150
要約筆記者（手書き）	件	91	127	101	110
要約筆記者（PC）	件	82	64	60	71
差 引 き（B－A）	件		-152	-225	-237

主に、通院時や講演会、会議等での利用がありますが、利用状況は減少傾向にあります。

【見込み（年あたり）】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	件	1,331	1,331	1,331

減少傾向にはありますが、一定のニーズはあるため、令和2年度の見込みの人数と同数を見込みました。

イ 手話通訳者設置事業

聴覚、言語機能または音声機能の障がいのため、意思疎通に支障のある人に対し、その円滑化を図るため、専任の手話通訳者を配置します。

【実績】

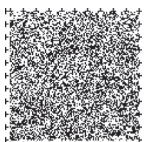
区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		2	2	2
実 績 B	人	2	2	2	2
差 引 き（B－A）	人		0	0	0

現在、障がい保健福祉課および亀田福祉課の2か所に専任の手話通訳者各1人を配置しており、手話を必要とする聴覚障がい者からの相談時等の通訳を行っています。

【見込み】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	2	2	2

今後、現在の2か所への配置を継続します。



⑦ 日常生活用具給付等事業

在宅の障がい者等に対し、日常生活の便宜を図るため、日常生活用具の給付または貸与を行います。

【実績（年あたり）】

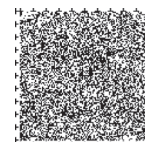
区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	件		8,341	8,644	8,958
実 績 B	件	7,420	7,652	8,054	8,317
介護・訓練支援用具	見込		2	2	2
	実績	16	24	13	13
自立生活支援用具	見込		57	57	57
	実績	36	44	40	45
在宅療養等支援用具	見込		35	35	35
	実績	34	32	57	44
情報・意思疎通支援用具	見込		265	265	265
	実績	180	259	173	215
排泄管理支援用具	見込		7,973	8,276	8,590
	実績	7,151	7,289	7,765	7,996
居宅生活動作補助用具	見込		9	9	9
	実績	3	4	6	4
差 引 き (B - A)	件		-689	-590	-641

排泄管理支援用具については、毎年増加していますが、それ以外の品目では増減を繰り返し推移しています。

【見込み（年あたり）】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	件	8,735	9,072	9,422
介護・訓練支援用具	件	17	17	17
自立生活支援用具	件	41	41	41
在宅療養等支援用具	件	42	42	42
情報・意思疎通支援用具	件	207	207	207
排泄管理支援用具	件	8,424	8,761	9,111
居宅生活動作補助用具	件	4	4	4

今後も、これまでの実績を基に、排泄管理用具については給付の件数が伸びるものと見込み、その他の用具については過去の実績から見込みました。



⑧ 手話奉仕員養成研修事業

意思疎通を図ることに支障がある障がい者の自立した日常生活または社会生活を支援するため、手話に関する必要な技術等を習得した手話奉仕員を養成します。

【実績（年あたり）】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		130	130	130
実 績 B	人	42	62	52	130
差 引 き (B-A)	人		-68	-78	0

講習の受講者は、定員の半分に達していません。

【見込み（年あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	130	130	130

派遣事業のニーズに対応するため、事業を継続し、受講者の確保を図ります。人数は、各講習の定員の合計で見込みました。

⑨ 移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者等について、社会生活上必要不可欠な外出および余暇活動等の社会参加のための外出の際の移動を支援します。

【実績（月あたり）】

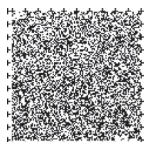
区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		45	45	45
	時間		441	441	441
実 績 B	人	39	31	29	35
	時間	372	266	222	271
差 引 き (B-A)	人		-14	-16	-10
	時間		-175	-219	-140

主に、サークル活動への参加での利用となっておりますが、利用は、年々減少しています。

【見込み（月あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	40	40	40
	時間	335	335	335

過去の実績および余暇活動における利用の増加を考慮して見込みました。



⑩ 地域活動支援センター機能強化事業

障がいのある人の地域生活を支援するため、通所により、創作的活動または生産活動の機会および社会との交流の促進等の便宜を供与する地域活動支援センターにおいて、日中活動の場を提供します。

【実績（月あたり）】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	か所		5	5	5
	人		269	269	269
実 績 B	か所	6	6	6	6
	人	262	261	289	269
差 引 き (B-A)	か所		1	1	1
	人		-8	20	0

利用者は、ほぼ横ばいで推移しています。

【見込み（月あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	か所	6	6	6
	人	269	269	269

今後も事業所数利用者数ともに現状と変わらないものと見込みました。

⑪ 障害児等療育支援事業

障がいのある児童等の地域生活を支えるため、療育に関する相談・支援および地域の施設等に対する専門的な相談・支援を行います。

【実績】

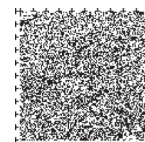
区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	か所		1	1	1
実 績 B	か所	1	1	1	1
差 引 き (B-A)	か所		0	0	0

事業を実施している1か所は、北海道からの委託も受けています。

【見込み】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	か所	1	1	1

現在、事業を実施している事業所に、継続して委託することとします。



⑫ 専門性の高い意思疎通支援を行う者の養成研修事業

ア 手話通訳者・要約筆記者養成研修事業

身体障がい者福祉の概要や手話通訳または要約筆記の役割・責務等について理解し、必要な技術等を習得した手話通訳者および要約筆記者の養成を行います。

【実績】

区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		3	3	3
実 績 B	人	0	11	2	3
差 引 き (B-A)	人		8	-1	0

年度によって、利用実績に増減があります。

【見込み】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	3	3	3

過去の実績から、令和2年度の見込みと同数で見込みました。

イ 盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業

盲ろう者の自立と社会参加を図るため、盲ろう者向けの通訳・介助員の養成を行います。

【実績】

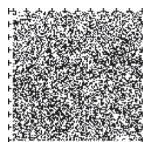
区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		2	2	2
実 績 B	人	0	0	0	2
差 引 き (B-A)	人		-2	-2	0

平成29年度からの利用実績は、ありませんでした。

【見込み】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	2	2	2

令和2年度の見込みと同数で見込みました。



ウ 失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業

失語症者の自立と社会参加を図るため、失語症者とのコミュニケーション手法等の指導を行い、意思疎通支援者を養成する事業です。

【実績】

実施に向けて検討を進めています。

【見込み】

既に本事業を実施している北海道および札幌市の状況ならびに本市における失語症者向け意思疎通支援者のニーズ等を把握し、当面は、実施に向けた体制の整備を進めます。

⑬ 専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣事業

ア 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

聴覚に障がいのある人の自立と社会参加を図るため、市区町村を越える広域的な派遣、複数市町村の住民が参加する障がい者団体等の会議、研修、講演または講義等における派遣を可能とするため、手話通訳者または要約筆記者を派遣します。

【実績】

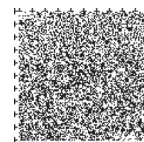
区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人				
実 績 B	人	2	1	2	4
差 引 き (B-A)	人				

市域を越える広域的な派遣について、年に数件の利用があります。

【見込み】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	4	4	4

令和2年度の見込みと同数で見込みました。



イ 盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業

盲ろう者の自立と社会参加を図るため、コミュニケーションおよび移動等の支援を行う盲ろう者向けの通訳・介助員を派遣します。

【実績】

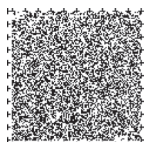
区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		24	24	24
実 績 B	人	0	0	0	24
差 引 き (B-A)	人		-24	-24	0

平成29年度からの利用実績は、ありませんでした。

【見込み】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	24	24	24

対象者が限定されるため、令和2年度の見込みと同数で見込みました。



(2) 任意事業

① 福祉ホーム

地域生活を支援するため、住居を必要とする人に、低額な料金で、居室その他の設備を利用させるとともに、日常生活に必要な便宜を供与します。

【実績（月あたり）】

区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	か所		1	1	1
	人		15	15	15
実 績 B	か所	1	1	1	1
	人	14	14	15	15
差 引 き (B-A)	か所		0	0	0
	人		-1	0	0

現在、市内には1施設がありますが、定員である15人が入居しています。

【見込み（月あたり）】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	か所	1	1	1
	人	15	15	15

今後も、施設および定員の増加予定がないことから、令和2年度の見込みと同数を見込みました。

② 訪問入浴サービス

歩行が困難で移送に耐えられない等の事情がある在宅の身体に障がいのある人に、訪問による入浴サービスを提供します。

【実績（年あたり）】

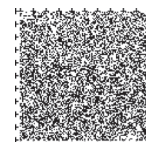
区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		6	6	6
	回		415	415	415
実 績 B	人	4	4	3	4
	回	267	229	219	396
差 引 き (B-A)	人		-2	-3	-2
	回		-186	-196	-19

増加減少を繰り返しながら推移しています。

【見込み（年あたり）】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	4	4	4
	回	396	396	396

対象者が重度の障がいのある人で、移動および家庭での入浴が困難な人と限定されることから、令和2年度の見込みと同数で見込みました。



③ 中途障害者生活訓練

身体に中途障がいのある人に対し、自宅内およびその周辺地域等において、歩行訓練や日常生活に必要な訓練および指導等を行います。

【実績（月あたり）】

区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		1	1	1
実 績 B	人	0	0	0	1
差 引 き (B-A)	人		-1	-1	0

過去の利用実績はありません。

【見込み（月あたり）】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	1	1	1

今後の利用希望者を勘案し、令和3年度以降も1人の利用を見込みました。

④ 日中一時支援

介護している家族が一時的に休息がとれるようにするとともに、障がいのある人に日中活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練その他の支援を行います。

【実績（月あたり）】

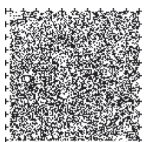
区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		22	22	22
	回		104	104	104
実 績 B	人	21	20	20	23
	回	96	122	110	118
差 引 き (B-A)	人		-2	-2	1
	回		18	6	14

年度によって、利用実績に増減があります。

【見込み（月あたり）】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	23	23	23
	回	118	118	118

年度によって、利用実績に増減があることから、令和2年度と同数を見込みました。



⑤ スポーツ・レクリエーション教室開催等

スポーツ・レクリエーションを通じて、障がい児・者等の体力増強，交流，余暇等に資するためおよび障がい者スポーツを普及するため，各種スポーツ・レクリエーション教室等を開催し，障がい者スポーツに触れる機会を提供します。

【実績】

現在，本市では，「障害者スポーツ教室開催事業」，「知的障害者青年教室開催事業」および「精神障害者ふれあい交流事業」を実施しています。

【見込み】

対象者の拡大も検討しながら，現在実施している事業を継続して実施します。

⑥ 障がい福祉のしおり発行事業

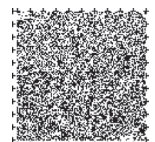
障がいに関する相談の窓口や関係機関が実施している制度等を周知するため，障がい福祉のしおりを発行し，関係者等に配布します。

【実績】

各種の制度を，年金，手当，保険・貸付制度，健康・医療，福祉サービス，各種減免等に分けて，その概要を紹介した冊子を毎年度発行しています。

【見込み】

今後も事業を継続します。



⑦ 奉仕員養成研修事業

点訳または朗読に必要な技術等を習得した点訳奉仕員，朗読奉仕員等を養成研修します。

【実績（年あたり）】

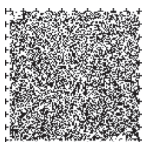
区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		80	80	80
実 績 B	人	18	14	22	80
点 訳	見込		40	40	40
	実績	7	7	8	40
朗 読	見込		40	40	40
	実績	11	7	14	40
差 引 き (B-A)	人		-66	-58	0

点訳については専門的な技術を要すること，また，朗読については他の団体等でも講習を実施していることなどから，各講座とも受講者は，定員を大きく下回っています。

【見込み（年あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	80	80	80
点 訳	人	40	40	40
朗 読	人	40	40	40

今後も定員を同数とし，受講者の確保に努めます。



⑧ 身体障害者自動車運転免許取得助成事業

就労その他の社会参加を促進するため、身体に障がいのある人を対象に、自動車運転免許の取得に要する費用の一部を助成します。

【実績（年あたり）】

区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		5	5	5
実 績 B	人	1	1	2	3
差 引 き (B-A)	人		-4	-3	-2

年度によって、利用実績に増減があります。

【見込み（年あたり）】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	3	3	3

年度によって、利用実績に増減があることから、令和2年度の見込みと同数を見込みました。

⑨ 重度身体障害者用自動車改造助成事業

就労その他の社会参加を促進するため、身体に重度の障がいのある人が自ら所有する車を改造した場合に、その費用の一部を助成します。

【実績（年あたり）】

区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		5	5	5
実 績 B	人	9	1	6	7
差 引 き (B-A)	人		-4	1	2

年度によって、利用実績に増減があります。

【見込み（月あたり）】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	6	6	6

一定のニーズがあるものと考えられるので、平成29年度からの平均利用人数を見込みました。

